

三陸沿岸道路「宮古中央インター線」 開通！

～ 三陸沿岸道路から宮古市街地へのアクセス性が向上 ～

道 路 建 設 課

平成25年3月23日、国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所が宮古市とともに事業を進めてきた三陸沿岸道路「宮古中央インター線」が開通しました。

今回は、平成22年3月21日に開通した三陸沿岸道路「宮古道路」の宮古中央インターと国道106号を直結する、橋長341mの千徳大橋を含む延長600mの区間の開通です。また、併せて県が整備を進めていた国道106号千徳交差点改良も完成しました。

今回の開通により、これまで閉伊川を渡河する花輪橋と小山田橋に集中していた交通が分散され、渋滞が慢性化していた花輪橋の交通量が約3割減少し、渋滞が大幅に緩和されるなど、三陸沿岸道路から宮古市街地へのアクセス性が大幅に向上しました。

開通式は同日、千徳大橋付近で開催。山本宮古市長をはじめ、国、県、宮古市、施工業者、地権者等の関係者約350人が出席し、「宮古中央インター線」の開通を祝いました。

山本宮古市長が「道路整備は市の復興に寄与する。開通を機に復興をさらに加速させたい。」と挨拶し、その後、テープカット及びくす玉開披、千徳大橋の完成を祝した親子4代の渡り初めを行いました。



親子4代渡り初め

【開通直後の整備効果（速報値）】

①交通量が花輪橋から宮古中央インター線（千徳大橋）に約3割転換

②花輪橋（北側交差点・花輪橋方向）の渋滞が緩和

●開通前

渋滞長：200m

通過時間：5.3分

○開通後

渋滞長：30m

通過時間：2.2分

開通前：H25.3.13（水）

開通後：H25.3.27（水）

交通量：午前7時～午後7時

※出典：国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所公表資料
(H25.4.10 記者発表)

